

# 交野おりひめ大学通信

一人じゃ出来ないことを、10人で、50人で、100人で！

令和6年4月号



KATANO ORIHIME UNIVERSITY  
交野おりひめ大学



## FORREST FES 雨の中開催！

3月23日、24日に星の里いわふねと周辺エリアで、交野のアート・商店・地酒&クラフトビールを集めた「FORREST FES」(交野おりひめ大学主催)が開催された。両日ともあいにくの雨模様となったが、市内外から千人近い来場者を迎え、出店者や出演者と積極的な交流が図られた。

今回のFESは、地元交野の三醸造所(山野酒造、大門酒造、シビックブルワーズ)を中心に、関西各地から集まった有名クラフトビール醸造所が出店する「酒森」、交野の自然の中でマルシェやステージ、アートを通じ市民との関わりを楽しむ「交森」、学生時代をコロナ禍で過ごし、卒業式ですら歌うことが叶わなかった若者が送るコロナ世代の音楽祭「歌森」、これら三つの「森」をテーマに開催されたもの。

惜しむらくは、連日の雨。スタッフ一同、一週間前から天気予報に一喜一憂し、ヤキモキするも、当日は予報どおり雨。菜種梅雨か、降りしきる雨の中、最悪のコンディションで当日を迎えたが、幸いにもクラフトビール愛好家を中心に多くの来場者にお越しいただき、スタッフ一同胸をなでおろしていた。



ることが出来た。この場を借りて、御礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、「歌森」ステージ一日目、Charmant cocoのミニライブの後、トリを飾ったのは、18再の32人のメンバーとCharmant cocoの合唱ステージ。

コロナ禍の高校生活を過ごし、歌うことを制限された彼らが、Charmant cocoの二人と一緒に、思いを込めて歌ってくれた。18再実現にむけては、佐藤うたさんを中心とするメンバーが、Charmant cocoに楽曲提供を依頼、必要な経費はクラウドファンディングを活用し自分たちで調達するなど、一つ一つ課題をクリアしながら実現に至ったもの。

グリーンビレッジ大会議室を埋め尽くす大勢の観客の前で、この日のために作られた「18 BLUE」を大熱唱してくれた。

気合い入れの円陣で本番に臨んだメンバー達、練習会でもなかなか全員が集まらず、全員が集まったのはこの日が初めてか。そうとは思えない、一致団結した熱唱だった。

Charmant cocoの愛花さんも、当日に至る経緯をミニライブのMCで紹介、このMCに心打たれ涙ぐむメ

- そば学科
- おさけ学科
- デザイン学科
- クラフトビール部
- 交野伝説学科
- カフェ部
- 酒づくりの会
- かのたのキャンヴァス
- KATANOホイスコーレ準備室

↑雨の中、多くの来場者が

ンバーも。半年前に5名から始めたこの企画、本番ではリーダーの思いに共感した32名ものメンバーが、この場に集い一緒に歌うことが出来た喜びに、うたさんも胸に熱いものがこみ上げたようで、一瞬、言葉に詰まっていたようだが、堂々と挨拶し熱唱してた。趣旨には同意してくれても思うように参加者が増えず、いろいろな手法を模索したこと、クラウドファンディングが伸び悩み様々な工夫を凝らしたファンペーJを作ったこと、様々な試行錯誤が実を結びこのステージを迎えたこと、そんないろいろなことが彼女の脳裏をよぎったのではない。

「18 BLUE」は、コロナ禍での様々な制約に、我慢するしかなかった学生時代を過ごしたメンバーの熱い思いが伝わる、歌詞・合唱共すばらしい曲でした。



「18 BLUE」はYouTubeでも配信中。メンバー達と思いを共有しませんか。



↑Charmant cocoと熱唱するメンバー

交野おりひめ大学



←検索してみてね。2024年度学科生募集中!